

第 52 期

# 中間報告書

2021年4月1日から2021年9月30日まで



## 中期ビジョン

### 【経営理念】 当社グループが めざす姿

『おいしさと楽しさ』をモットーに、  
消費者ニーズに応える商品づくりを通じ、  
健康で豊かな食文化の向上に貢献し、  
顧客、取引先、社会に信頼され、  
そして従業員、株主、企業それぞれが  
充足することをめざしてまいります。

### 社会の活力を 支える企業として

私たちシノプフーズは、  
お客様の視点に立った「安全・安心な商品」  
をお届けすることはもちろん、コンプライアンス、  
CSR(企業の社会的責任・社会からの信頼)に  
もとづいた企業活動を実践し、  
さらなる成長のための行動力を磨き、  
変化に対して積極的に  
挑戦してまいります。

## 中期経営計画における

# 基本戦略

当社グループでは、経営理念に則した『良品づくり』のさらなるレベルアップを実現するために  
4つの**基本戦略**をもとに取り組んでまいります。

## 販売戦略

良品をお届けするために必要な  
「製造力」「開発力」「営業力」を磨き、  
安全・安心で美味しい商品を  
より多くのお客様に安定的に提供する  
体制を強化してまいります。

## コスト戦略

良品を継続的にお届けするために、  
原材料面、労務管理面、販売管理面を  
中心に現場レベルでの緻密な管理を行い、  
中長期的な視点でのコスト削減に  
取り組んでまいります。

## 人財戦略

多様な働き方や働き手に対応した  
職場環境の整備に取り組み、  
健康で働きやすく能力を  
発揮し続けられる職場づくりと、  
研修制度の充実などスキルの  
向上を進めてまいります。

## 環境戦略

フードロス削減、石油製プラスチックの  
代替品やエコ素材を使用した  
包装資材の積極利用を推進する  
とともに、廃棄物総量の削減と  
ゴミの再資源化に  
取り組んでまいります。

## 中期経営計画における 数値目標

中期経営計画の数値目標として、  
2025年3月期において売上高550億円、  
経常利益率3.3%をめざしてまいります。

数値目標[第55期](2025年3月期)

売上高 **550**億円  
経常利益率 **3.3**%

2022年3月期の期首から「収益認識に関する会計基準」  
(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用し、  
一部の取引の収益を純額で認識することとなるため、  
適用後の数値目標へ修正いたしました。



代表取締役社長  
松本崇志

### さらなるレベルアップの実現へ向け

シノプフーズは、『おいしさと楽しさ』をモットーに、設立以来50年以上、「食」にかかわる企業の使命として、お客様のニーズや社会のスタイルに合わせた商品を提供してまいりました。第52期は中期経営計画【「良品づくり」のさらなるレベルアップをめざす5カ年計画】の2年目であり、商品づくりを通じ、健康で豊かな食文化の向上に貢献し、顧客、取引先、社会に信頼され、そして従業員、株主、企業それぞれが充足することをめざし、取り組んでまいりました。今後も「安全・安心な商品」をお届けすることはもちろん、コンプライアンス、CSR(企業の社会的責任・社会からの信頼)にもとづいた企業活動を実践するほか、環境負荷軽減や持続可能な社会づくりに貢献し、さらなる成長のための行動力を磨き、変化に対して積極的に挑戦してまいります。

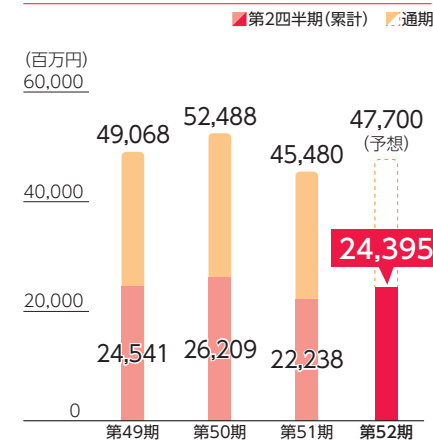
売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益
243億9千5百万円	8億3千5百万円	8億5千万円	5億9千3百万円
前年同期比9.7%増	前年同期比66.4%増	前年同期比63.1%増	前年同期比44.5%増

#### 営業の概況

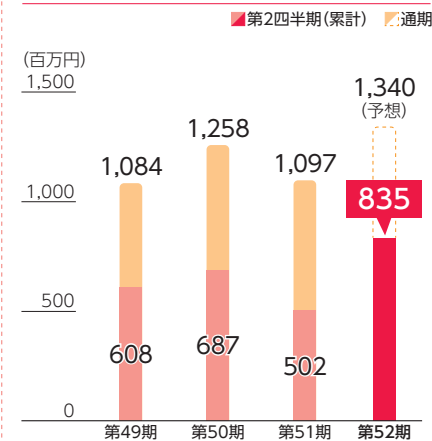
当社グループは中食業界に属し、主要な取引先であるコンビニエンスストア、スーパーマーケット、ドラッグストア等へ弁当、おにぎり、調理パン、寿司及び惣菜等を製造販売しており、当社グループを取り巻く環境は、在宅勤務の増加や外出機会の減少、行楽やイベント需要の落ちこみなどもあり、引き続き先行き不透明な状況が続いております。こうした状況下、当社グループは、「良品づくり」のさらなるレベルアップをめざす5カ年計画をテーマとした中期経営計画(2021年3月期～2025年3月期)を策定し、4つの基本戦略、「販売戦略」、「コスト戦略」、「人財戦略」、「環境戦略」に基づき目標達成に向け取り組んでおります。販売面では、前期に引き続き新規取引先の開拓に努め、本年4月から新たにカフェチェーンとの取引を開始しました。開発面では、料理勉強会を開催し、プロの料理人から調理のノウハウの指導を受けるなど、今後も「内製化」「良品づくり」にこだわった商品の開発に取り組んでまいります。

生産面では、食に携わる企業としての責任を全うするため、従来からの衛生管理に加え、政府のガイドラインに基づいた新型コロナウイルス感染症防止対策に取り組み、お客様への安全・安心な商品の提供に注力いたしました。コスト面では、油類や肉類の高騰がありますが、これらを吸収するべく購買部による主要食材の調達方法の見直しを継続して行うことに加え、調理加工品アイテム数の削減や、機械化による品質及び生産性の向上、各工場間での横断的な製造経費の見直しに取り組んでおります。人財面では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための社内ルールを周知徹底し、従業員の健康管理に努めつつ、職種別の会議体や勉強会の拡充、経営幹部及び女性幹部候補者や新任管理職に対するWEB研修により、スキルの向上や組織力の強化と均一化に取り組まれました。環境面では、バイオマスプラスチック25%含有素材を使用した弁当容器の拡充や、紙包材を使用したサンドイッチの販売を開始するなど環境負荷の軽減に取り組まれました。

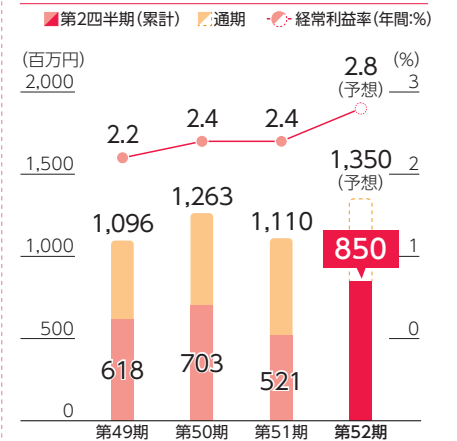
#### 売上高



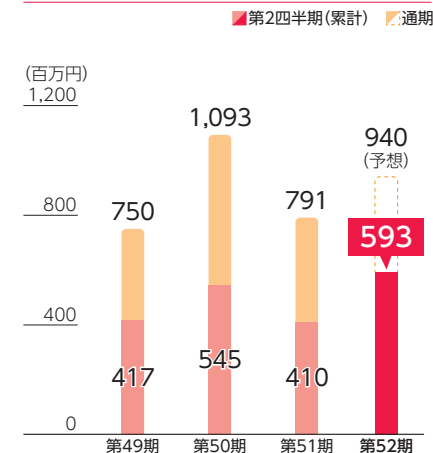
#### 営業利益



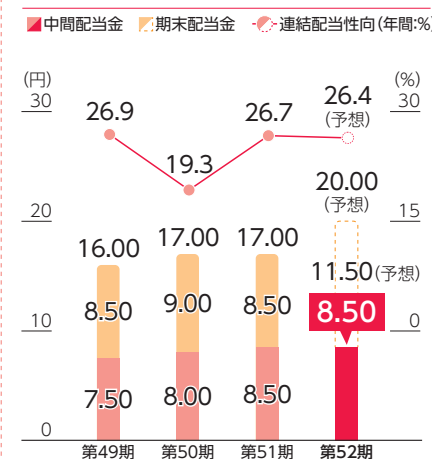
#### 経常利益/経常利益率



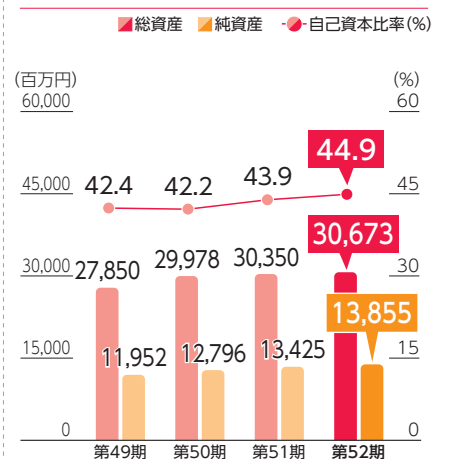
#### 親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益



#### 1株当たり配当金/連結配当性向



#### 総資産/純資産/自己資本比率



(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を当連結会計年度の期首より適用しております。第51期の業績につきましては、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

# 連結財務諸表

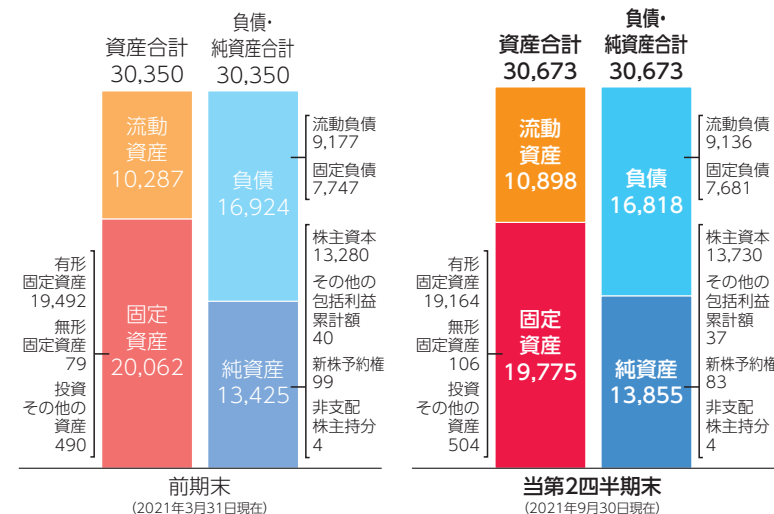
▶▶ Consolidated Financial Statements

# 会社データ

▶▶ Corporate Data

## 四半期連結貸借対照表の概要

(単位：百万円)



### [資産合計]

現金及び預金の増加を主に前連結会計年度末に比べ3億2千3百万円増加し、306億7千3百万円となりました。

### [負債合計]

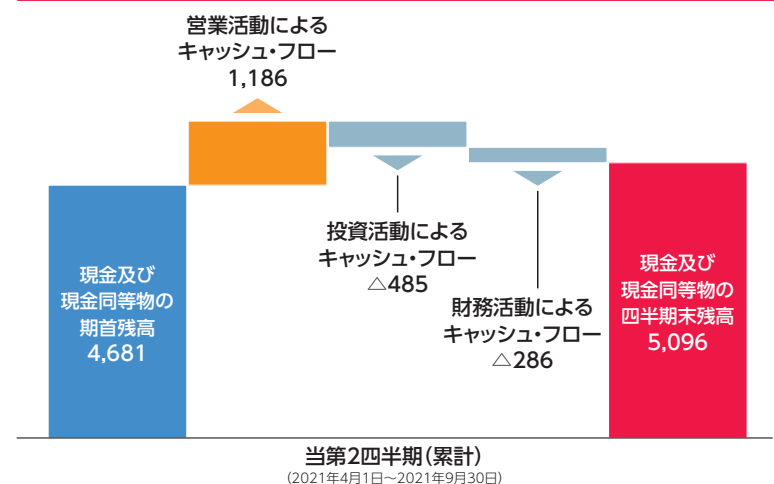
その他の流動負債の減少を主に前連結会計年度末に比べ1億6百万円減少し、168億1千8百万円となりました。

### [純資産合計]

親会社株主に帰属する四半期純利益5億9千3百万円を計上する一方で、配当金の支払1億6百万円等により前連結会計年度末に比べ4億3千万円増加し、138億5千5百万円となりました。

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位：百万円)



### [営業活動によるキャッシュ・フロー]

税金等調整前四半期純利益	848
減価償却費	748
その他の資産の増減額(△は増加)	△68
法人税等支払額	△161

### [投資活動によるキャッシュ・フロー]

有形固定資産の取得による支出	△439
----------------	------

### [財務活動によるキャッシュ・フロー]

配当金の支払額	△106
長期借入れによる収入	1,000
長期借入金の返済による支出	△1,123

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 会社概要

(2021年9月30日現在)

社名 シノブフーズ株式会社  
SHINOBU FOODS PRODUCTS CO.,LTD.  
設立 1971年5月1日  
資本金 4,693,422,000円  
従業員数 531名  
事業内容 米飯加工食品(弁当、おにぎり、寿司等)・調理パン(サンドイッチ等)・惣菜等の製造販売

## 役員

(2021年9月30日現在)

代表取締役社長 松本 崇志 監査役(社外) 野村 祥子  
代表取締役 西村 寿清 監査役(社外) 南方 得男  
取締役 隅田 真年 執行役員 岡田 孝司  
取締役 清水 秀輝 執行役員 田中 謙治  
取締役 長尾 正史 執行役員 花谷 由紀  
取締役(社外) 加藤 道彦 執行役員 杉山 直博  
取締役(社外) 中野 由里 執行役員 吉井 淳  
常勤監査役 大塚 一樹 執行役員 佐門雄一郎

## 株主メモ

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社  
株主名簿管理人事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(郵送物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(電話照会先) 0120-782-031(フリーダイヤル) (受付時間 9:00～17:00(土日休日を除く))  
インターネットホームページURL <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>  
(よくあるご質問(FAQ)) [https://faq-agency.smtb.jp/?site\\_domain=personal](https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal)

## 株式の状況

(2021年9月30日現在)

発行可能株式総数 45,656,000株  
発行済株式総数 13,500,000株  
単元株式数 100株  
株主数 7,671名

## ネットワーク

(2021年9月30日現在)

本社 大阪市西淀川区竹島2丁目3番18号  
TEL(06)6477-0113(代表)

工場 ●千 葉 千葉県八千代市上高野1734番1  
●名 古 屋 愛知県弥富市四郎兵衛1丁目128番地  
●大 阪 大阪市西淀川区福町1丁目9番16号  
●関 西 大阪市西淀川区御幣島6丁目14番36号  
●京 滋 滋賀県栗東市六地藏1163  
●岡 山 岡山県総社市中原字翼原88番の2  
●広 島 広島県尾道市美ノ郷町本郷20001番地65  
●四 国 香川県観音寺市柞田町字千拓793番7号  
●物 流 セ ン タ ー 大阪市西淀川区福町1丁目9番17号  
●東 京 事 業 所 東京都大田区蒲田5丁目42番6号 蒲田ハイツ201号  
子会社 ●機エス・エフ・ディー 大阪市西淀川区竹島2丁目3番18号  
●マイツペーカー(株) 大阪市西淀川区竹島2丁目3番18号

### 【株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会】

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。  
証券会社の口座をご利用でない株主様は、左記電話照会先までご連絡ください。なお、お手続き方法やよくあるご質問は、左記「よくあるご質問(FAQ)」サイトでご確認いただけます。

## モンドセレクション2021

モンドセレクション2021にて、当社のサンドイッチブランド「epi mou」から4アイテムが金賞を受賞。

「epi mou ミックスサンド」は、2011年から11年連続での金賞受賞となりました。

**受賞商品** epi mou ミックスサンド  
epi mou ミックスサンド[耳なし]  
epi mou バラエティミックスサンド  
epi mou バラエティボックスサンド



## フードバンクへの寄贈スタート

SDGsへの取り組みの一環として、2020年10月より、京滋工場にて「フードバンク滋賀」様へ製造時に出るパン耳の寄贈を行っており、2021年8月からは四国工場でも「えひめフードバンク愛顔」様への寄贈がスタートしました。

今後も各工場にて、フードバンクへの寄贈のみならず、子ども食堂への寄贈なども視野に入れ、取り組んでまいります。



Shinobu

シノブフーズ株式会社

〒555-0011 大阪市西淀川区竹島2丁目3番18号  
TEL (06) 6477-0113 (代表)  
<https://www.shinobufoods.co.jp/>



この報告書は、環境に配慮し、植物油インキを使用しています。